

# 業務部速報

発信者》JREU

仙台地本業務部 / 湯ノ目

〒983-0852

仙台市宮城野区榴岡1-4-3

TEL 022-297-0155

FAX 022-291-3070

JR 031-3981~3

FAX 031-3980

2020年 1月 15日

## 「災害時の運転再開・勤務等の取扱いに関する申し入れ」団体交渉！①

申4号「災害時の運転再開・勤務等の取扱いに関する申し入れ」の団体交渉を1月15日15時40分から開催しました。ポイントを記載します。詳細や不明点等ございましたら、地本業務部まで連絡下さい。

(1項)災害時における計画運休・運転再開等に関して、支社の考え方を明らかにすること。また、安全を最優先として運転再開等を行うこと。

(回答)運転再開等については、現地の状況等を総合的に勘案し、判断しているところである。

### 【主な議論・支社の認識】

- ・計画運休に関しては、プレダス、風速・雨量計、ウェザーニュース、TV会議を開き、総合的に判断している。(ウェザーニュース社は以前から運行・インフラ系の予報をしていて、一番良いと認識している)
  - ・2011年12月12日開催2011年度仙台地本申5号団交を踏まえて、2011年豪雨被災時の確認通り、**避難指示・勧告時、線路点検(ルールスター、スポット確認)は入れないので行わない、出区点検等の指示もしない。**乗務員の送り込みの際にもそのことを知得していれば送り込みを行わない。タクシー便乗などの際は、その地域を通過する時は、ルートを確保して行うなど、現状をよく確認することとなる。
  - ・台風19号時の運転再開にあたり、10月14日時点の左沢線、陸羽東西線の運転再開(が出来そうで)しなかったのは、安全確認列車に伴う短絡確認の信通係員の手配が出来なかったからと思われ、動かせる線区から運転再開するスタンスは変わらない。全体の状況を見て動かせるところから動かすことを行っている。(定期券払い戻しの5日や地方交通線などを後回しという事は一切ない)
- (組合) **10月16日の事象**で、安全確認列車が会津若松から郡山に向けて発車し、その続行で若松発13時26分の郡山行1232Mが定時発車している。しかし、猪苗代で抑止、その後前を走る安確がまだ郡山に着いていないため、本来なら安確で雨規制は解除となるが、所定速度で運転出来ず雨規制の通告を受けて喜久田まで雨規制で走行し、喜久田で下りの安確列車を待つため抑止となった。喜久田で行き違い後、喜久田～郡山間は所定速度で運転なっている。安全確認列車が終点駅に到着してから、営業列車は始発駅を発射させるべきではないか。お客さまにどのように説明するのか。

(会社) 地域の被災状況を踏まえ、鉄道運行の使命が大きく、ニーズが多かったことが考えられる。

(会社) 事象については、**確認する。**